

オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域オウム真理教対策住民協議会

オウム真理教との闘い 「幅広い活動」

スローガンは「解散・解体」

1995年、地下鉄霞が関駅周辺でオウム真理教が起した、サリンによる同時多発テロ事件から15年が経過した。その年に生まれた子供も今では中学生になるが、多くの青少年にとって「地下鉄サリン事件」は、テレビにごく稀に出現する映像の世界での認識となる。そのサリン事件の余韻が冷めやらぬ5年後の2000年に、オウム真理教（アレフ・ひかりの輪）が、烏山地域に集団入居した時から反対運動が開始されて、今年12月で10年になる。その当時オウム真理教との闘いは、モデルになる活動はなく、活動の方向を指し示す専門家がいる訳でもなく、問題があれば議論し、闘いの方針を決めてきた。行き詰まりや、紆余曲折もあったが、常に私たちは「大きな視野で、幅広い活動」を

心がけてきた。オウム真理教反対運動が「オウムは出て行け」と、当然のように叫ばれていた時期だったが「他の地域へのたらい回し」では問題は解決しないとの思いから、オウム真理教「解散・解体」



と決めたスローガンの先見性にもその事は如実に表われている。最近では、オウム真理教との対決と共に、他のカルト教団の本質や怖さを知らせる活動にも力を入れ、更に、オ

烏山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会

ウム真理教信者の「脱会・社会復帰」の援助活動の模索も始まっている。
幅広い活動を振り返る
オウム真理教(アレフ・ひかりの輪)との闘いが、今年12月で10年となる節目の年に、あらためて住民協議会の「幅広い活動」にスポットを当ててみた。

署名活動は「団体規制法」存続署名2回、「観察処分」期間更新署名3回の計5回行い、オウム真理教の活動規制に大きな役割を果たしてきた。募金活動は各地のお祭り・イベント会場で、毎年、年間約30回行い「あなた達が活動しているから安心して生活できる。」「私は活動に参加出来ないから募金をします。」など支援の輪が広まり、活動が継続できる貴重な資金になっている。3年前から始めたリサイクルバザーは、物品提供が年々増加すると共に、バザー当日は3000人以上の来客で大盛況となり、住民との交流も含め、その影響力は計り知れないものがある。今年で20回を数える抗議デモ・学習会は、近頃は近隣小・中学校PTA会員、大学生など、若い人達の参加が目立つようになってきた。
年10回発行されている、住民協議会ニュースは今年11月号で100号を迎えることになるが、烏山地域を始め世田谷全区で新聞折込、世田谷区全ての町会では、ニュースの回覧が毎月定期的に行われている。その他の広報活動でも少しずつ成果が現われてきている。オウム真理教施設が存在する地域の行政や住民への取材活動を通じて交流が始まり、更に定期的に住民協議会ニュースを送る事で、

滋賀県湖南市、石川県金沢市の住民協議会などから「活動の参考になる」との反響も寄せられている。今年6月には、足立区入谷に「アレフ」の施設が出来るとの情報を得て取材したことがきっかけとなり、後日、入谷の住民から「オウム真理教との闘いの経験を知りたい」と、訪問を受け交流が始まっている。広報活動が様々な地域を結びつけ、烏山地域オウ



ム真理教対策住民協議会の活動の経験が、他の地域にも広まり、全国でオウム真理教反対運動の参考になっているようだ。

このように、烏山地域オウム真理教対策住民協議会は着実に活動を継続してきたが、一方、オウム真理教は、依然として烏山地域をはじめ全国各地に存在している。私たちはこの事を直視し、改めて多くの住民の力を借り、創意工夫をし、オウム真理教の「解散・解体」に向け、活動を継続していかねばならないと考えている。

第21回 抗議デモ・学習会

11月13日(土)

講演内容 「危機管理」に見るオウム真理教問題

抗議デモ 午後1時30分 集合
学習会 午後2時30分 開会

講師 佐々 淳行氏



プロフィール

昭和5年12月11日生まれ。東京都麻布区(現・東京都港区)出身。

昭和29年東京大学法学部政治学科卒業、国家地方警察本部(現・警察庁)入庁。以来35年3ヶ月、日本の治安・防衛・外交という、国家の基本的任務に従事した。東京オリンピックの警備を始め、「東大安田講堂事件」、「連合赤軍『あさま山荘』事件」、「ひめゆりの塔事件」、「三原山噴火」、「大喪の礼」の警備など、日本国家の危機管理の中核を担ってきた。また、「危機管理」という言葉のワードメーカーである。

監視小屋だより

烏山地域オウム真理教対策住民協議会の監視活動も今年で10年になりました。発足当初は協議会メンバーが交替で行なっていましたが、現在は39の地域団体の皆さんの協力を得て、毎日、教団への監視を続けています。信者達の動きを記録した日誌から抜粋しました。

- ・修行が終わったらしくGSハイムの1階から2階へ信者達が移動、上祐もいた。左のドアから紫の衣を着て小柄でショートカットの女性が出て来た瞬間に、公安の人達が一齐にメモを取った。重要人物なのだろうか？今日は公安の人達がいつもより多いようだ。
- ・車にて荷物を運び出す。一般車両から通行にじゃまだと言われた。引越しなのか？人の出入りで結構あわただしい様子で、上祐が部屋を出入りして信者に何やら指示している。
- ・世田谷区の採用2年目の若い職員の方々、男性4名女性5名、研修の一環として烏山地域を勉強しているとのこと視察に来た。オウム真理教の現状等いろいろ質問された。今の若い人達は地下鉄サリン事件の事も

知りません。役所の若い方々にオウム真理教の事を知ってもらえて良かったです。

- ・ジャージを着た2人の若い女性と1人の老女がGSハイムの1階から2階へ移動、中年から若い女性があたかも運動後の様にしんどそうに階段を登り、部屋に入った。
- ・サンサンマンションより男1人自転車でバイパス方面へ出て行き、すぐにワゴン車で旧道側から戻った。電化製品を搬入。
- ・8/11～8/13 GSハイムにて信者のセミナーとのこと。上祐も昨日より戻っている。現在居住している信者の数は、GSハイムに約15名、サンサンマンションに約40名。

GSハイムでは、北寄りのところに信者用の新しい出入口が出来た事により、ひかりの輪の信者達の出入りが良くわかる様になりました。信者の引越しが相次ぎ烏山に居住している人数はかなり減少していますが、他の地域へ移動しているにすぎません。

私たちはオウム真理教「解散・解体」に向けて、今後も活動を続けていきます。地域の皆さんの御協力、御支援よろしくをお願いします。

夏祭り会場での募金活動

新樹苑盆踊り大会会場

7月24日(土)新樹苑盆踊り大会の募金活動に行ってきました。猛暑が連日続き、夕方でも昼間の暑さが残る中での募金活動になりました。昨年は「団体規制法」の署名活動も同時に行いましたが、今年は募金活動だけのお願いで、活動もやりやすく、多くの方にお願いができました。関心のない人もいますが、「少ないけど募金します、頑張っね」と心よく募金をいれていく方、小学生のグループがおこづかいを募金箱に入れていくなど、とても心強く感じました。

募金活動終了後、八幡山町会恒例の手作り餃子や子ども達の輪投げなどが大盛況で、花笠踊りや炭鉾節での盆踊りでは、浴衣姿の人も多く交じり、とても盛り上がっていました。新樹苑に入苑していると思われる車椅子の人も、手拍子を打ちながら笑顔で楽しんでいる姿が、とても印象的でした。八幡山町会の長島会長はじめ役員の方々に、よくきてくれたね頑張らなさいと激まされ、新樹苑での募金活動を終えました。

からすやま夏まつり会場

8月5日から3日間、烏山区民センター広場でエルモール主催の「からすやま夏まつり」が開催された。天候も快晴だったことから、会場は人人人で溢れていた。今年の夏は例年になく猛暑で、日が陰ってから更に人は増え、行き交うのも大変な混雑状況だった。特に売店は長い列を作り、生ビールやかき氷がよく売れていた。

オウム対策協議会では例年、会場で募金活動を続けており、今年も受付の横にスペースをいただき、募金箱を置かせて貰った。3日間で延べ9人が募金活動に参加をした。こうした混雑では募金箱にもなかなか関心を示しては頂けないかと心配をしましたが、大きな貯金箱持参で募金して下さった方もいるなど、たくさんの募金をいただきました。



住民協議会活動報告

- 7月19日(月) ラビス健康フェスタ模擬店出店と募金活動
- 7月20日(火) 住民協議会勉強会
- 7月21日(水) 夏休み親と子の映画会で募金活動
- 7月24日(土) 千駄山ふれあいまつりで募金活動
- 7月24日(土) 新樹苑盆踊り大会で募金活動
- 8月3日(火) 事務局会議
- 8月4日(水) 芦花公園駅前盆踊り大会で募金活動
- 8月5日(木)～7日(土) からすやま夏まつりで募金活動
- 8月9日(月)～10日(火) 給田納涼盆踊り大会で募金活動

- 8月19日(木) 実行委員会
- 8月21日(土) 粕谷区民センター夏休み夕涼み会で募金活動
- 8月27日(金)～28日(土) 烏山おわらい夏まつりで募金活動
- 8月28日(土) 八幡山町会納涼まつりで募金活動
- 8月29日(日) 親子木工まつりで募金活動
- 8月30日(月) 協議会ニュース98号初校正
- 9月3日(金) 事務局会議
- 9月6日(月) 協議会ニュース98号再校正
- 9月14日(火) 協議会ニュース98号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。